



子どもたちの安全安心について

毎朝、交差点・横断歩道での子どもたちの安全の見守り、ありがとうございます。また、行事等で、子どもたちと一緒に付き添っていただき、安全の配慮をしていただいているおかげで、大きな事故もなく、有意義な体験学習を実施させていただいています。普段の授業でも、活動内容によって、器具の使用等による怪我が起こりやすい場合にも、授業のサポートに入らせていただいています。

この紙面をお借りしまして、感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。誠にありがとうございます。

5月27日(月)避難訓練・引き渡し訓練

午前中に避難訓練の予定でしたが雨のため中止となりました。午後から「緊急時の児童引き渡し訓練」については、予定を変更して教室での引き渡しとなりました。

今後、南海トラフ巨大地震等の大きな災害や不審者侵入等の緊急事案が発生した際は、今回の訓練と同様のやり方（実際には運動場での引き渡し）になります。よろしくお願いいたします。



津波てんでんこ

「津波てんでんこ」とは、「津波が来たら、いち早く各自でてんでバラバラに高台に逃げろ」と言う避難に関する東北地方の言い伝えです。

「津波てんでんこ」には、3つの大事な意味があります。

- ①自分の命は自分で守るということ。
- ②避難する姿を見て、他の人も避難するきっかけとなるということ。
- ③家族や隣の人、仲の良い人と、緊急時の行動を打合せしておけば、バラバラに行動しても大丈夫ということ。

災害の発生が家族と一緒に過ごしている時とは限りません。もしもの時のことを考えて、日ごろから家族で、話し合いをしておいてください。

5月17日(金)校区たんけん(3年生)

3年生が郡山小学校区の北地区を探検しました。学校支援ボランティアの川居さん、城ノ口さん、伊達さんから、校区にある色々な施設について、説明していただきました。今後、他の地区も探検します。

小学校のちかくに、あんなにたくさんの太陽光パネルがあるのをはじめて知りました。

どうして、太陽光パネルが、大きく見えるのだろーと思いました。

郡山町に神社（酒井神社）があることを初めて知りました。そして、そんなに昔からあるとは思いませんでした。



5月21日(火)環境学習(6年生)

6年生が河芸マリーナの海岸で環境学習をしました。「ウミガメネットワーク三重」の米川さんを講師に招いて、ウミガメの産卵のための環境整備や干潟の生き物の生態について色々教えてもらいながら、マイクロプラスチックを拾ったり、干潟の生き物の観察をしたりしました。また、当日には学校支援ボランティアの城ノ口さん、川居さん、前田さんにサポートしていただいて、安全に学習することができました。

あらためて海を見ると、プラスチックゴミは、まだまだありました。私たちが捨てているゴミのせいで、魚たちが死んでしまっていることを思うと、私も悲しくなりました。

カニや魚や色々な生き物が、すごく自然豊かな所で静かに暮らしていて、気持ちよさそうだなと思いました。そこにゴミがたまったら、環境の一部がこわされてしまうんだなと思いました。

テトラポットの近くには、すごい量のマイクロプラスチックがありました。捨てた人は何も考えずに捨てていると思うけど、ゴミのおかげで生き物が苦しんでいると思いました。



5月22日(水)交通安全教室(1年、4年、6年)

鈴鹿警察署の職員と指導員の方に来ていただいて、交通安全教室を実施しました。1年生は体育館で、自転車の乗り方についてのお話を聞きました。4年生と6年生は、運動場で、自転車の乗り方、前方・後方の確認の仕方、交通規則等のお話を聞き、その後運動場で学んだ自転車の乗り方を実際にやってみました。

